

2019/11/21 Rev1.0

パノラマ memoShot

操作マニュアル



目次

【本書について】	2
本書の内容	2
本アプリの対応機材(iPhone・カメラなど).....	2
【基礎編】	3
第1章 本アプリ概要と事前準備物.....	3
1-1.本章について.....	3
1-2.必要となる事前準備物.....	3
1-3.本アプリでできる事・できない事	4
1-4.本アプリの画面紹介	5
第2章 まず撮影してみよう	8
2-1.本章について.....	8
2-2.ステップ1〉 初回にやるべき準備.....	9
2-3.ステップ2〉 撮影直前の準備	16
2-4.ステップ3〉 現場でのパノラマ撮影	
2-5.ステップ4〉 撮影したパノラマ写真の登録.....	24
第3章 アプリ活用テクニック.....	26
3-1.本章について.....	26
本章は、以下のような構成になっています。	26
3-2. [設定〉 すべての情報を更新]を頻繁に実行する事.....	27
3-3. カメラのシャッター音量を変更	28
3-4.撮影推奨機材.....	29
3-5.現場撮影に行く前の、チェックリスト.....	32
3-6.撮影した写真を、すぐにパノラマ memo に登録したい場合の設定	33
3-7.大量の撮影をスムーズに行うテクニック	34
3-8.暗い場所での撮影テクニック.....	35
3-9.撮影したパノラマ写真を、パソコンに取り込みたい場合	36

【本書について】

本書の内容

本資料は、パノラマ memo(建築業界向け現場管理システム)専用の iOS アプリ「パノラマ memo 撮影アプリ(以下、本アプリと記載)」のマニュアルです。パノラマ memo 利用者以外は、本アプリを利用する事が出来ないためご注意ください。

本アプリの対応機材 (IPHONE・カメラなど)

本アプリの対応システム・機器は以下です。

パノラマ MEMO

- ✓ パノラマ memo-Free
- ✓ パノラマ memo-Lite
- ✓ パノラマ memo-Standard
- ✓ パノラマ memo-Pro

※企業向け独自サーバ版・独自カスタマイズ版パノラマ memo での対応可否は、御社担当営業または support@panomemo.com までお問い合わせください。

スマートフォン(以降、スマホと記載)

- ✓ iPhone
- ✓ iPad(モバイル通信機能の有無を問わない)
- ✓ iPod Touch(モバイル通信機能なし)

アプリは、AppStore で無料ダウンロードできます。また、正確な対応機種・iOS バージョン情報も AppStore をご確認ください。

カメラ(リコー社シータ)

- ✓ Theta S
- ✓ Theta SC
- ✓ Theta V
- ✓ Theta Z1

最新の対応機種情報は、AppStore をご確認ください。

Theta のファームウェアバージョンが古い場合、動作しない可能性があります。その場合は、ファームウェア更新を行ってください。

【基礎編】

第1章 本アプリ概要と事前準備物

1-1.本章について

本章を読むことで、以下の事が分かります。

- ✓ 本アプリで、**何ができるのか？**
- ✓ 本アプリを使うためには、**どんな準備が必要か？**
- ✓ 本アプリの画面イメージ

1-2.必要となる事前準備物

パノラマ MEMO の契約

一部特殊な環境(企業向け特別カスタマイズ版など)を除き、全グレードのパノラマ memo で利用できます。

IOS のスマートフォン

iPhone,iPad,iPod Touch など iOS 搭載のスマートフォン

インターネット環境

スマホでインターネット接続するための「モバイル環境または Wi-Fi 環境」

※撮影時は、インターネットにつながらなくても問題ありません。

リコー社 THETA

360 度パノラマ写真撮影用のカメラ

三脚または一脚＋ミニ三脚

手持ちでの撮影であれば不要。

ただし、高画質で撮る場合や、暗所・点検口などを撮る際は重要。

1-3.本アプリでできる事・できない事

できる事

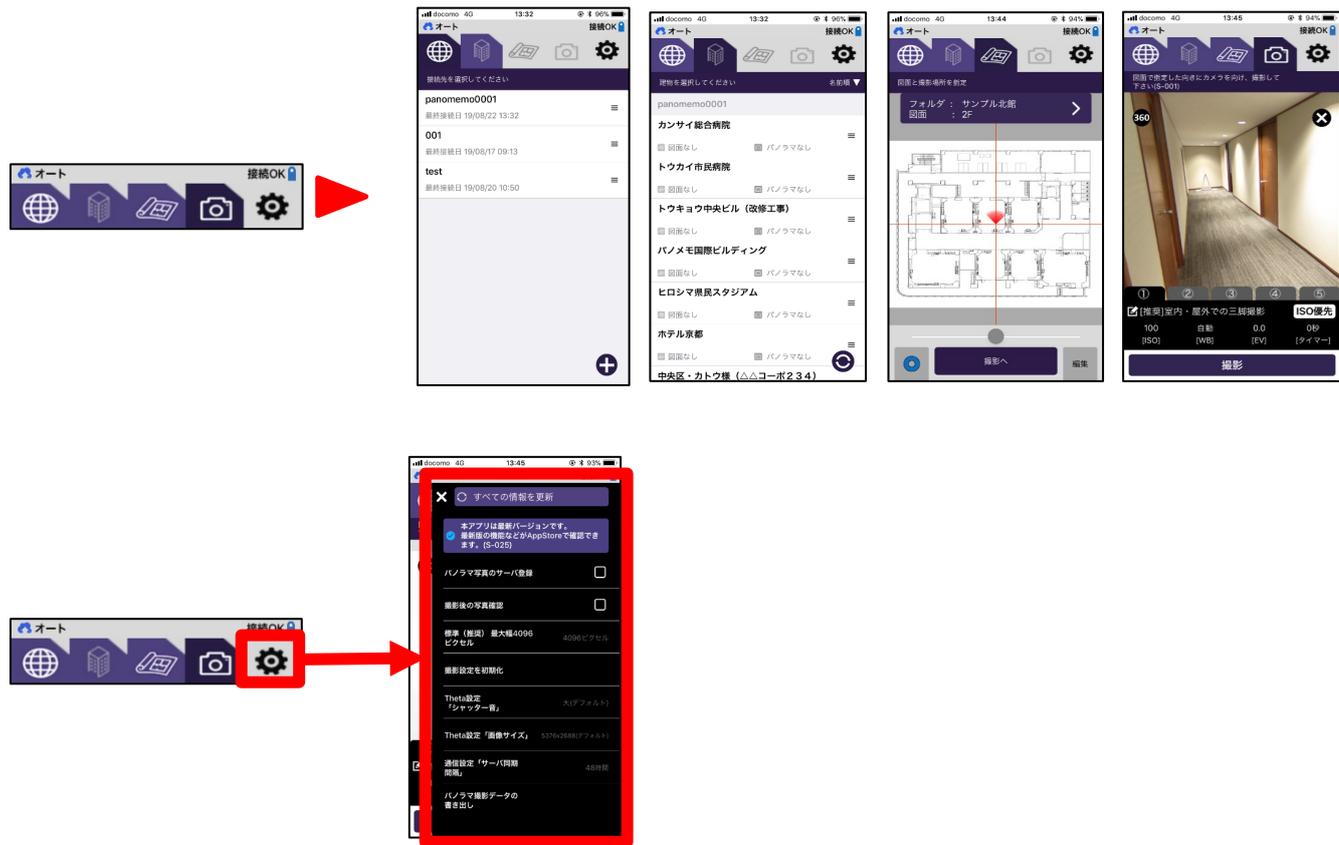
- ✓ パノラマ memo に登録した「図面」に貼り付ける形で、リコーTheta によるパノラマ写真撮影・登録。
- ✓ インターネットにつながらない環境での撮影。
(写真アップロード時は、Wi-Fi などのインターネット環境が必要)
- ✓ ランタンなどの簡易照明を使い、暗所・点検口での撮影が容易にできる。

出来ない事

- ✓ リコーTheta 以外のパノラマカメラでの撮影。
- ✓ パノラマ memo への図面登録・パノラマ閲覧・タグ書き込み。
※本作業は、パソコン・iPad のブラウザで実施できます。

1-4. 本アプリの画面紹介

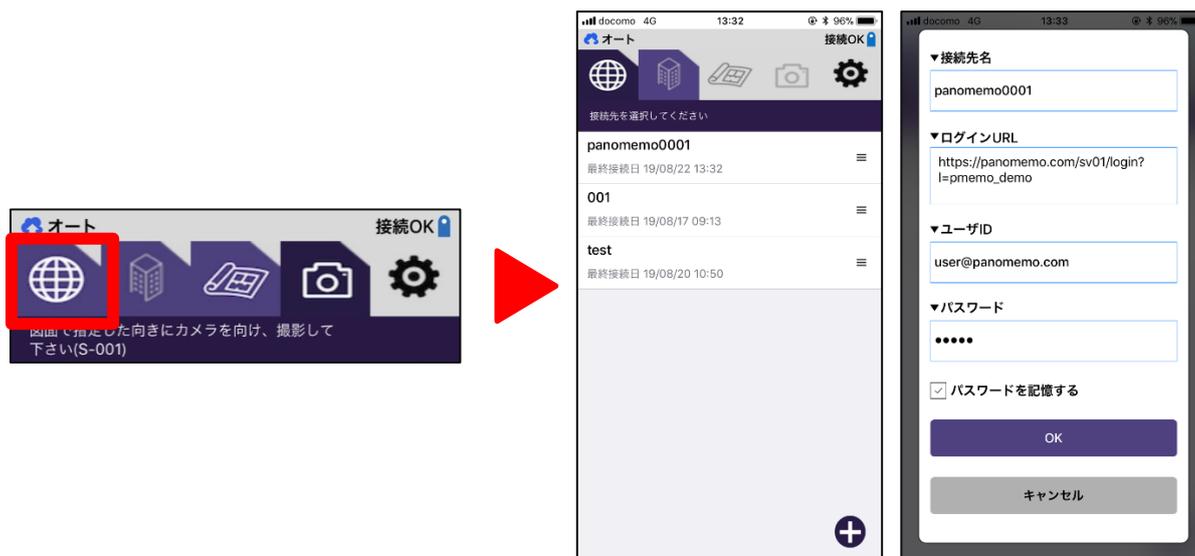
4つのウィンドウと、1つのタブ



① 接続ウィンドウ

契約しているパノラマ memo アカウントを選択します。(通常は1アカウント)

パノラマ memo へのログイン URL・ID・パスワード等を入力。



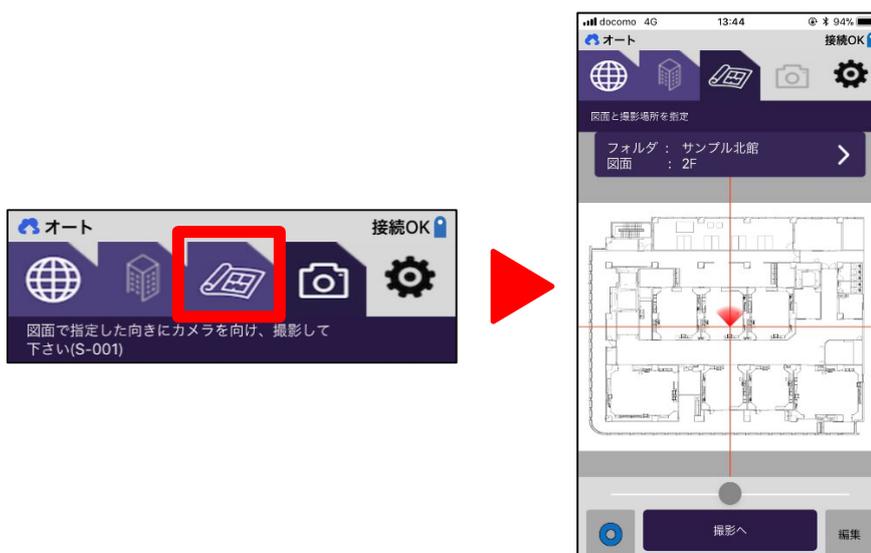
② 建物ウィンドウ

パノラマ memo に登録されている建物の一覧から、目当ての建物を選択します。



③ 図面ウィンドウ

建物ウィンドウで選択した建物を持つ「平面図」が表示されます。ここで、撮影場所・角度などを指定可能。



④ 撮影ウィンドウ

カメラのプレビューや、部屋の明るさに合わせたカメラ設定が行えます。



⑤ 設定タブ

写真登録や、アプリ・カメラの各種設定変更などができます。



第 2 章 まず撮影してみよう

2-1. 本章について

パノラマ撮影に必要な一連の操作を体験します。これにより「本アプリを使ったパノラマ撮影～登録」までの基本機能全てを覚えて頂けます。大まかな流れは以下です。

1. 初回にやるべき準備(1 度実施すれば、次以降は不要)
2. 撮影直前の準備(1 度実施すれば、その建物に対しては次回以降不要)
3. 現場でのパノラマ撮影
4. 撮影したパノラマ写真の登録

2-2.ステップ 1) 初回にやるべき準備

初めて本アプリを使う方のみ必要な「アプリのインストール」「パノラマ memo アカウント情報(URL, ID, パスワード)の登録」を行います。本ステップの注意点は以下です。

- ✓ 本ステップでは、インターネットにつながるスマホが必要です。モバイル通信か、WIFI 通信環境で作業してください。
- ✓ 既にアプリのインストールや、パノラマ memo への接続設定が完了している場合、ステップ 1 は飛ばし、ステップ 2 へ行ってください。

準備 1・APPSTORE から「パノラマ MEMO 撮影アプリ」をダウンロード。

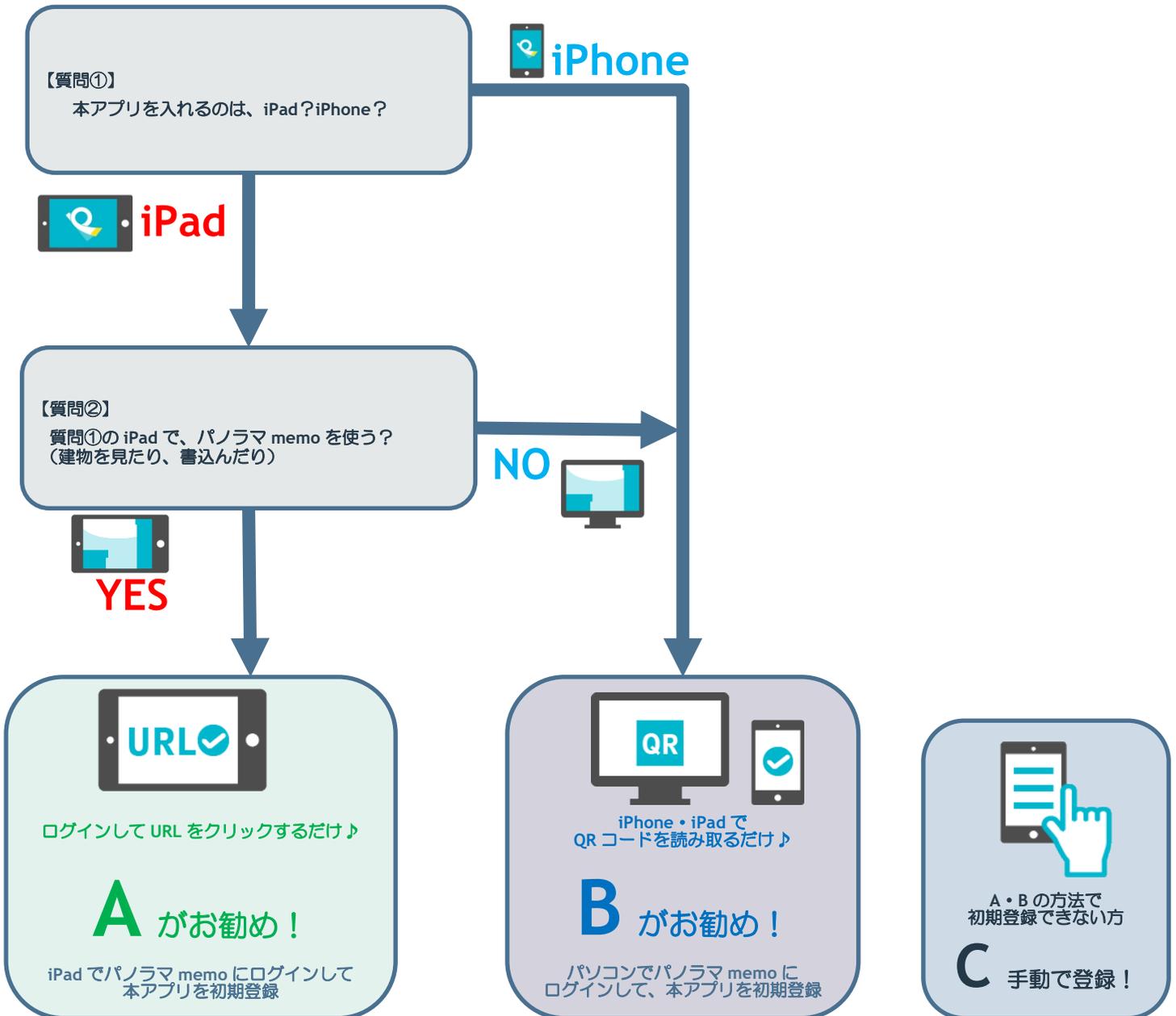
	<p>手順 1)</p> <p>スマホを起動し、AppStore から「パノラマメモ」と検索し、「パノラマ memoShot」をインストールする。</p>
--	---

準備 2・撮影アプリにパノラマ MEMO の URL・ID・パスワードを登録する。

本作業を行うには、A・B・C の3パターンのがあります。

下記のフローチャートを参考に、いずれかの方法で初期登録を行ってください。

※iPhone・iPad には事前に撮影アプリをダウンロードしてください。



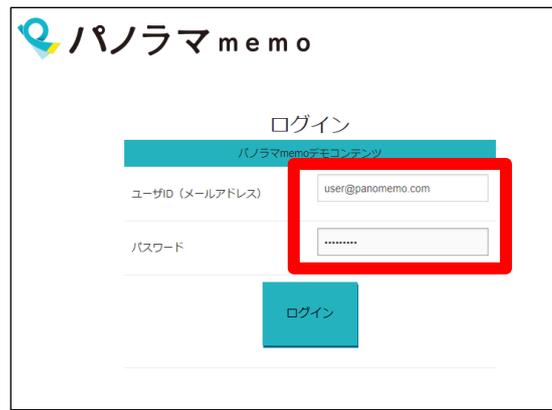
方法 A URL をクリックして自動で入力する方法

※アプリをインストールした iPad と、同じ iPad で作業を行ってください。

	<p>手順 1)</p> <p>iPad でパノラマ memo にアクセスしてください。 ID・パスワードを入力してログイン。</p>
	<p>手順 2)</p> <p>建物一覧の画面、右下の「スマホ撮影アプリ」をクリック。</p>
	<p>手順 3)</p> <p>下へスクロールして、ログイン用 URL をクリック。</p>
	<p>手順 4)</p> <p>撮影アプリが開き、接続先の情報が自動で表示されるので、パスワードを入力し、「OK」をクリック。</p>
	<p>手順 5)</p> <p>登録完了。 接続先を選択してください。(15 ページへ)</p>

方法 B QRコードから自動で入力する方法

※アプリをインストールした端末と、もう一台パソコンなどを準備できる場合のみ利用できます。



手順 1)
パソコンでパノラマ memo にアクセスしてください。
ID・パスワードを入力してログイン。



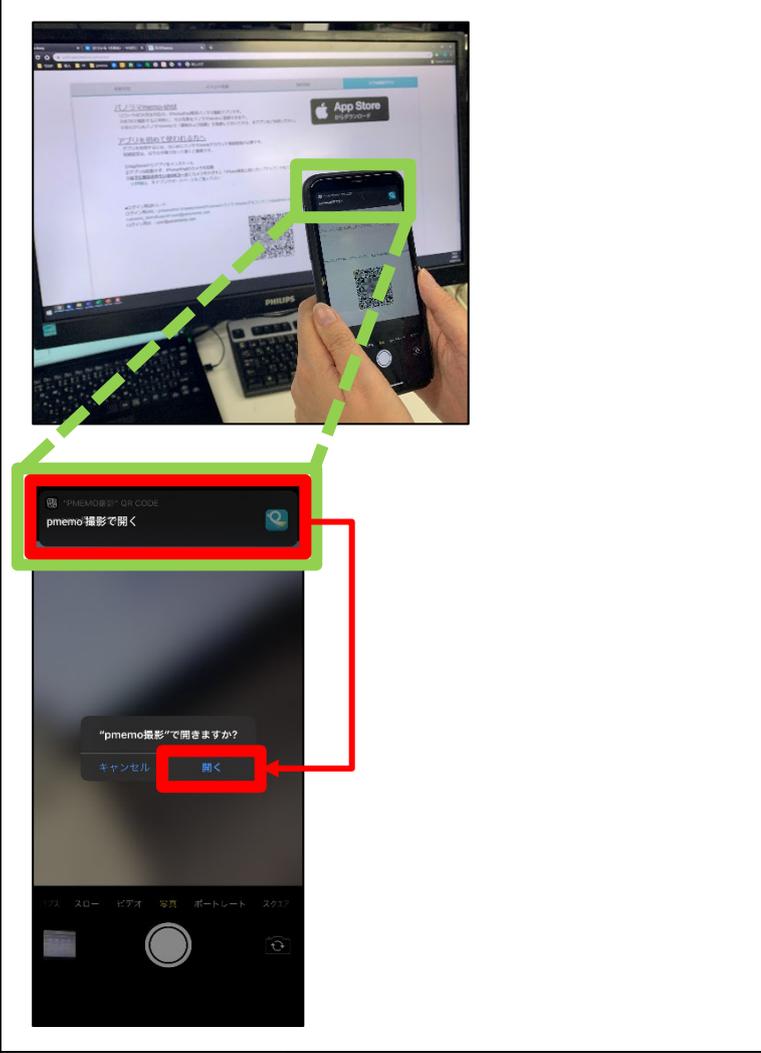
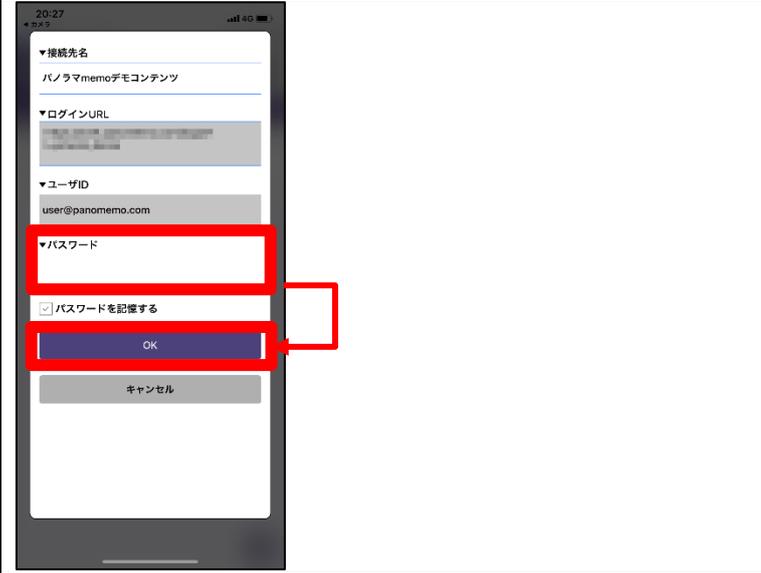
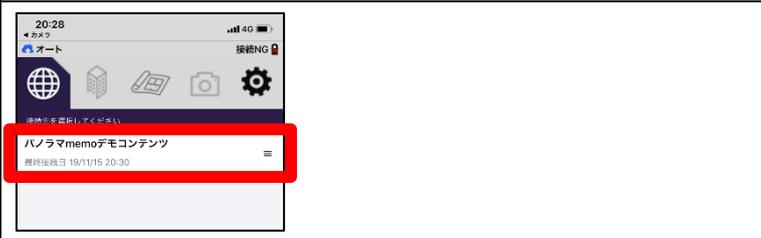
手順 2)
建物一覧の画面、右下の「スマホ撮影アプリ」をクリック。



手順 3)
下へスクロールして、QRコードを表示しておきます。



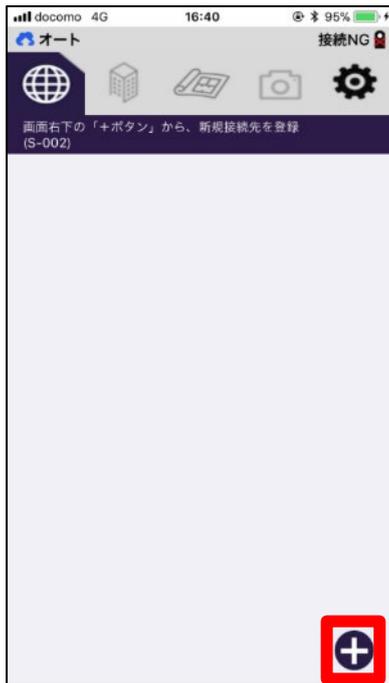
手順 4)
iPhone・iPadのカメラアプリを起動。

	<p>手順 5)</p> <p>カメラに先ほどの QR コードを写す。</p> <p>画面上から 「pmemo 撮影で開く」という通知がきます。 この通知をクリック。 「”pmemo”撮影で開きますか？」で「開く」をクリック。</p>
	<p>手順 6)</p> <p>撮影アプリが開き、接続先の情報が自動で表示されるので、パスワードを入力し、「OK」をクリック。</p>
	<p>手順 7)</p> <p>接続完了。 接続先を選択してください。(15 ページへ)</p>

方法 C 手動で情報登録する方法

※A・Bの方法で初期登録できない場合は、手動で登録情報を入れる事になります。

これが以下の「方法 C」です。



手順 1)

画面右下の[+]ボタンをクリック



手順 2)

フォームに必要な情報を入力

◆接続先名

会社名など、任意の名前を付けてください

◆ログイン URL

パノラマ memo ログイン画面の URL を入力してください。

例)<https://sv00.panomemo.com/login?!=abc123>

◆ユーザ ID

パノラマ memo のユーザ ID

◆パスワード

パノラマ memo のログインパスワード

入力完了後、OK をクリック



手順 3)

登録完了。

接続先を選択してください。(15 ページへ)

準備 3・接続先の建物を確認する。

A・B・Cいずれかの方法で初期登録が完了したら、本アプリの建物一覧の画面を確認してください。



手順 1)

新規接続先が登録され、建物一覧の画面が表示されます。



確認

◆建物の一覧に「今から撮影したい建物がある場合」

→建物をクリックしステップ 3(19 ページ)へ

◆建物の一覧に「全く建物がない」または「今から撮影したい建物がない場合」

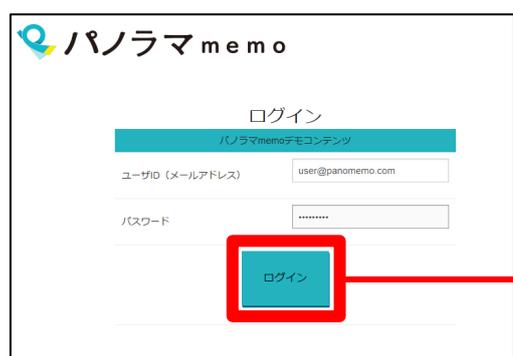
→ステップ 2(16 ページ)へ

2-3.ステップ 2) 撮影直前の準備

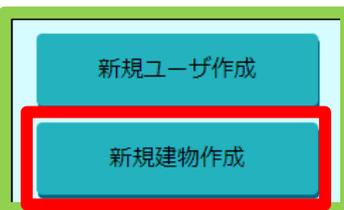
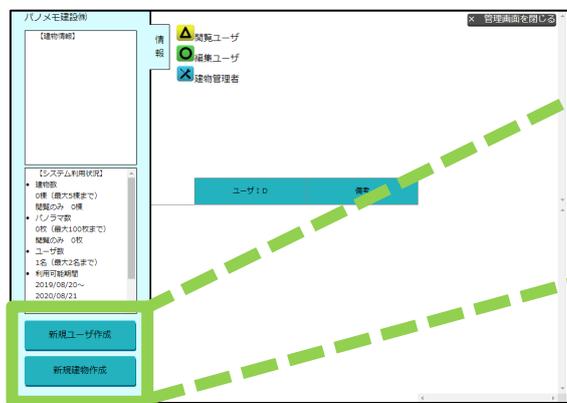
撮影現場に行く前に実施しておくべき「建物の作成&図面登録」を行います。本ステップは「アプリの操作」より「パノラマ memo 側の操作」がメインとなります。以下の点に注意して作業してください。

- ✓ ここでは「図面」をパノラマ memo に登録します。事前に図面の画像データ(png ファイル、または jpg ファイル)を準備してください。
- ✓ 本ステップでは、インターネットにつながるスマホが必要です。モバイル通信か、WIFI 通信環境で作業してください。
- ✓ パノラマ memo 管理者権限が必要となります。権限がない場合は「以下の作業手順 1」が実行できないため、御社の管理者まで作業を依頼してください。

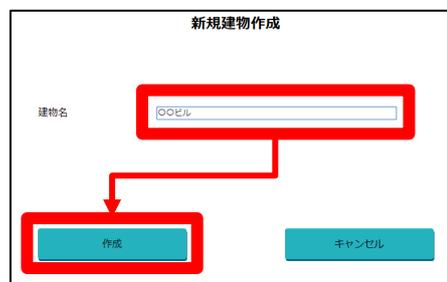
まず、今から撮影する対象となる「建物」を新規作成し、アクセス権を付与する

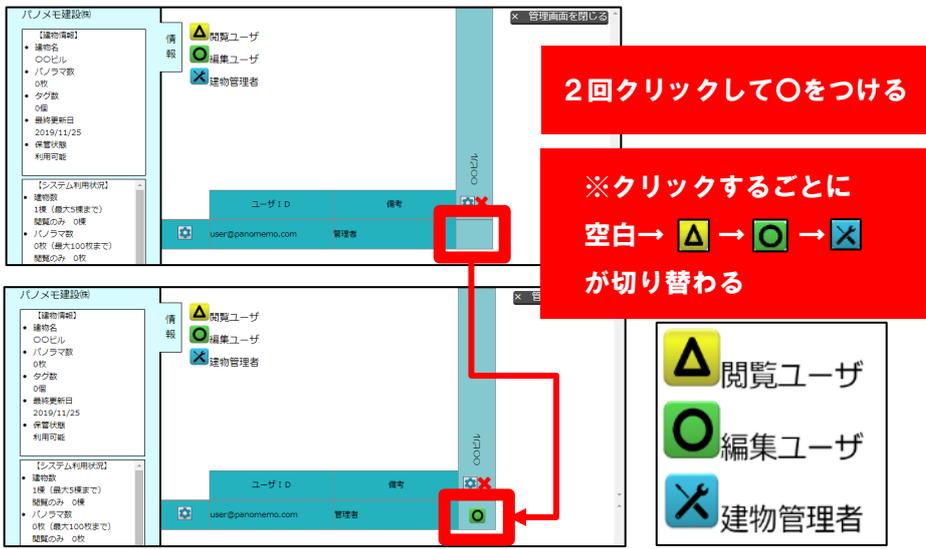
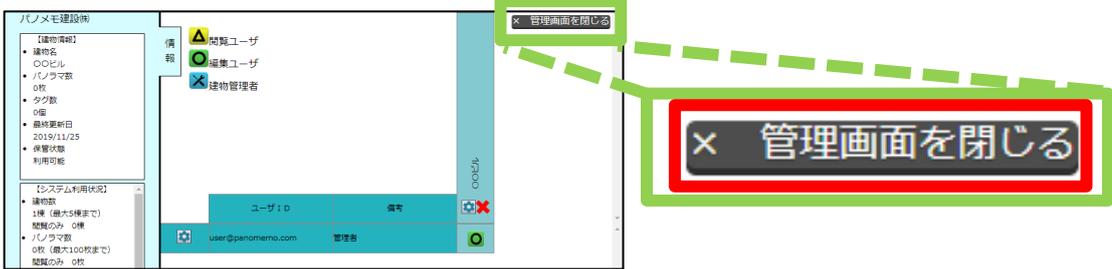
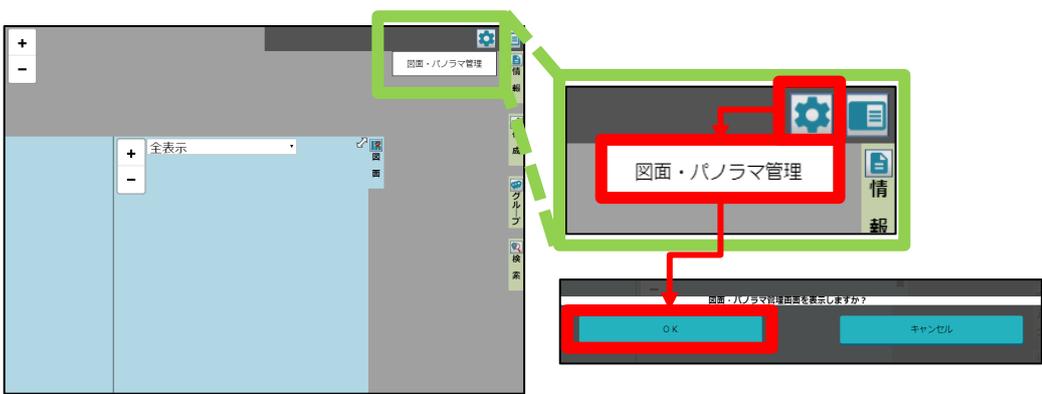


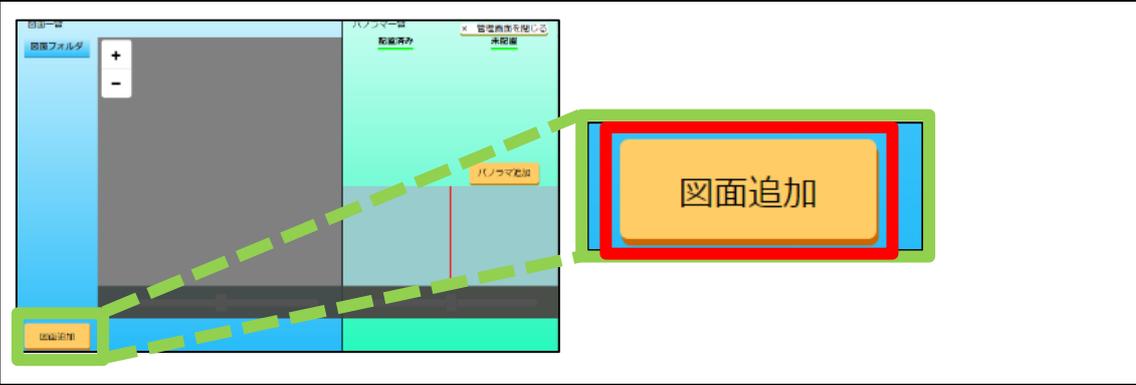
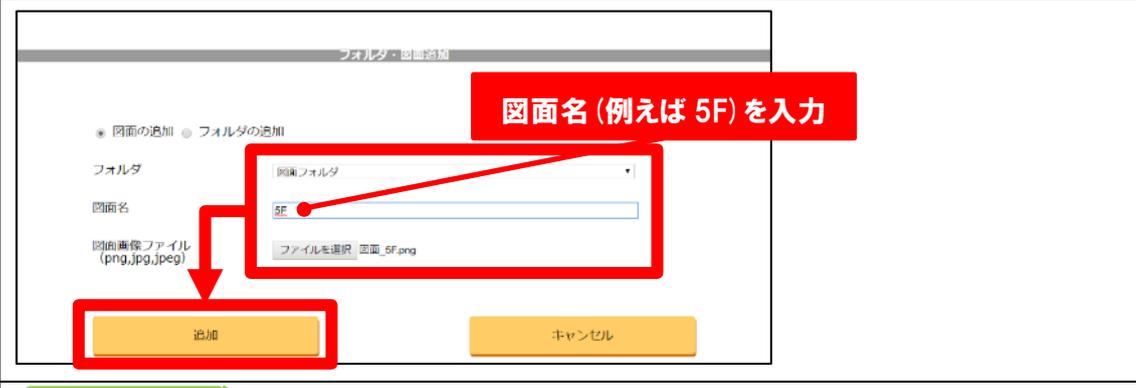
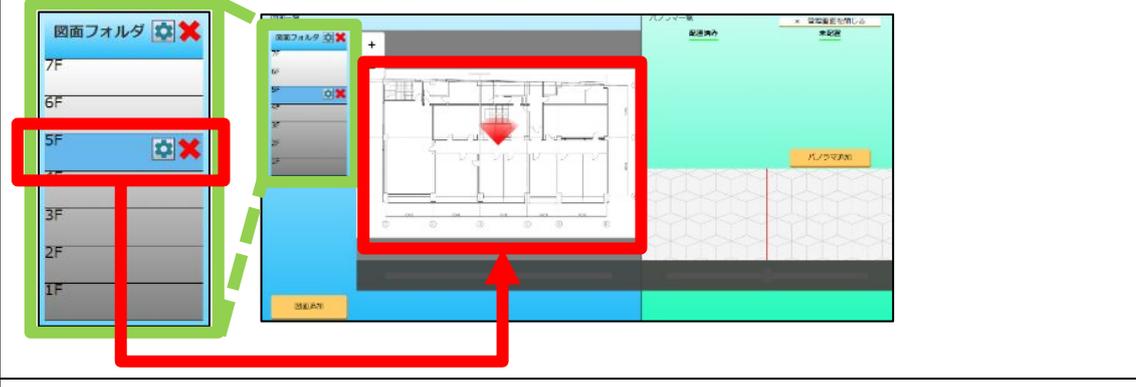
手順 1)
パノラマ memo にログインし、[管理者画面へ]をクリック。
※管理者権限がない場合、このボタンが表示されません。御社のパノラマ memo 管理者まで「手順 1~4」を実施するようご依頼ください。



手順 2)
[新規建物作成]で、撮影対象となる建物を作成する。
※既に作成済みの場合は不要



	<p>手順3)</p> <p>ステップ1で設定した自分のログインIDに対し、作成した建物の編集権限を付与する。</p> <p>※編集ユーザまたは建物管理者とする。閲覧ユーザではパノラマ写真登録権限が無いためNG。</p>
	<p>手順4)</p> <p>管理者画面を閉じる。</p>
	<p>手順5)</p> <p>建物一覧画面に、手順2で作成した建物が表示されているので、建物名をクリック。(表示されていない場合、手順3を再チェックする)</p>
<p>作成した建物に「平面図」を追加する</p>	
	<p>手順6)</p> <p>パノラマ memo のメイン画面が開くが、平面図もパノラマ写真もない状態。(空っぽの建物)</p> <p>ここで、[画面右上メニュー] 図面・パノラマ管理]をクリックする。</p>

	<p>手順 7)</p> <p>図面・パノラマ管理画面が開くので[図面追加]をクリック</p>
	<p>手順 8)</p> <p>[図面名]を入力。 [図面画像ファイル]に、建物の平面図データ (png または jpg ファイル)を登録し、[追加]をクリック</p>
	<p>手順 9)</p> <p>図面が複数枚ある場合、手順 8 を繰り返す。</p>
	<p>手順 10)</p> <p>画面右上の「図面フォルダ」をクリックすると、手順 8・9 で登録した図面が表示される。</p>
<p>ここまでで作成した「建物および平面図」を本アプリで確認(ダウンロード)する</p>	
	<p>手順 10)</p> <p>パノラマ memo アプリを起動。 接続先を選択。</p>

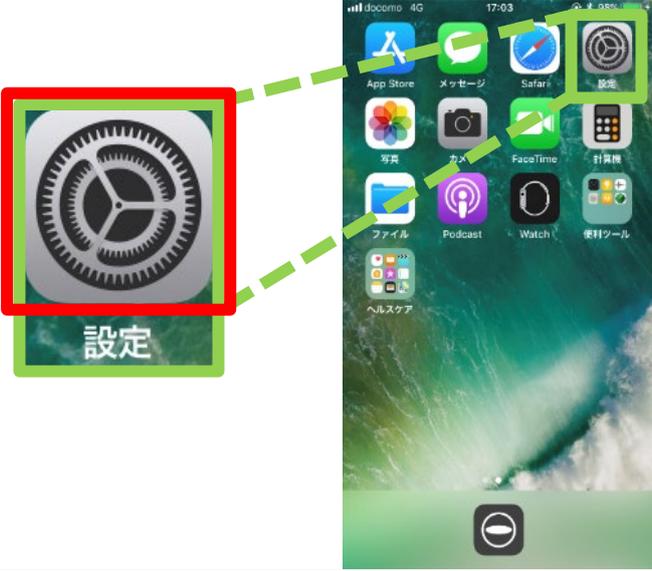
	<p>手順 11> 建物一覧から、「今回作成した建物名」を選択</p>
	<p>手順 12> 建物の図面が表示される ※この時点で、本アプリ内に図面がダウンロードされている。そのため、これ以降はインターネット接続できない環境でも「図面閲覧」や「パノラマ撮影」が可能となる</p>

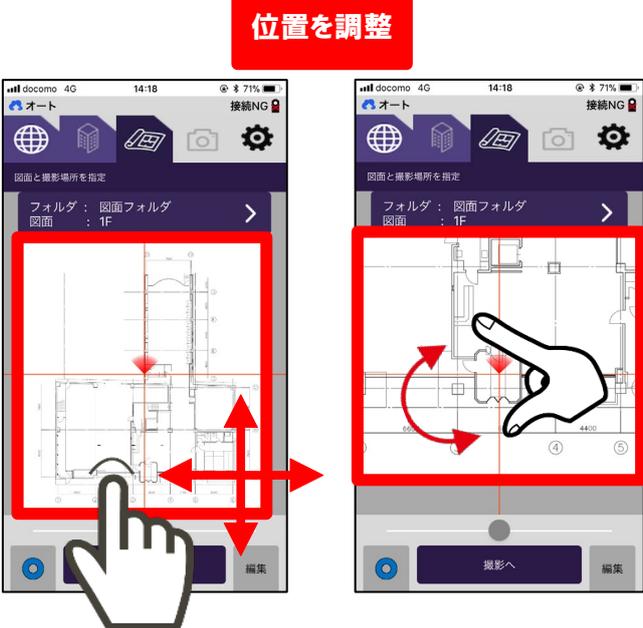
2-4. ステップ 3> 現場でのパノラマ撮影

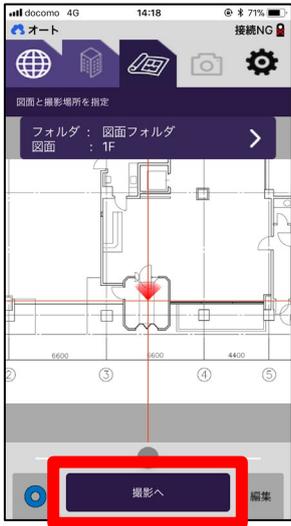
ステップ 1・2 までは、事前準備でした。これ以降は、本格的に「アプリとカメラ」を使った撮影作業となります。本ステップのポイントは以下です。

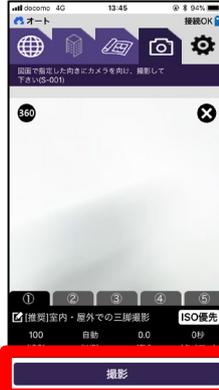
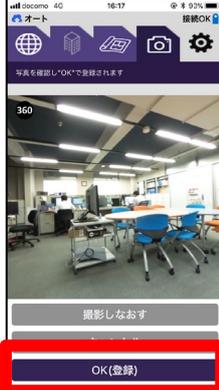
- ✓ インターネット接続できない iPhone/iPod Touch などでも撮影可能
- ✓ カメラ(リコーTheta)が必要

<p>スマホとカメラを接続する(リコーTheta マニュアルにも記載有)</p>	
	<p>手順 1> Theta の電源を入れる。 ※WIFI ランプが点滅する</p>

	<p>手順 2> スマホの[設定] WiFi]を クリック。</p>
<p>Wi-Fi が OFF の状態</p>  <p>ON で緑になる</p>  <p>THETAYJ を選ぶ</p>  <p>パスワードを入力</p> <p>数字部分がパスワード</p>	<p>手順 3> WIFI の設定が OFF の場 合、ON にする。 ネットワークを選択… から[THETA*****]を選 択し、パスワードを入 力する。 ※標準設定では、パス ワードは[Wi-Fi 接続先 の数字部分 8 桁]</p>
  <p>点滅から、点灯に切り替わる</p>	<p>手順 4> スマホとカメラが、正 常に WIFI 接続されたこ とを確認。</p>
<p>アプリを使い、パノラマ撮影を開始する</p>	

	<p>手順 1> 事前に設定しておいた [接続先]を選択する</p>
	<p>手順 2> 事前に準備しておいた 「撮影対象となる建物 名」を選択する</p>
 <p style="color: red; font-weight: bold;">図面の切り替えはこちらをクリック</p>	<p>手順 3> 図面が表示される。 ※複数枚の図面がある 場合、切り替える事が 出来る</p>
 <p style="color: red; font-weight: bold;">位置を調整</p>	<p>手順 4> 今から撮影する位置 を、図面の中心に持っ てくる。 ※スマホの操作で「図 面の移動・拡大縮小」 を行い、撮影位置が 「赤い十字」の中央に 来るようにする</p>

	<p>手順 5> 撮影ボタンをクリック</p>
	<p>手順 6> カメラをセットする。 ※手持ちの場合は、カメラを垂直にかざす。 傾けたり、レンズを手でふさがないように注意。 ※三脚利用する場合は、カメラを設置する。</p>
	<p>手順 7> 必要に応じて撮影設定を行う。 ※三脚の場合は①または② ※手持ちの場合は④</p>

	<p>手順 8> 撮影ボタンをクリック。</p>
	<p>手順 9> 撮影された写真が表示されるので、問題なければ「OK(登録)」をクリック。</p>
	<p>手順 10> 手順 3~9 を繰り返し、すべての写真を撮影する。</p>
	<p>以上の作業を繰り返す事で、パノラマ写真が図面上に貼り付けられていく。</p>

2-5.ステップ 4) 撮影したパノラマ写真の登録

ステップ 3 で撮影した写真を、パノラマ memo に登録します。本作業はボタン 1 つで完了します。以下の点に注意して作業してください。

- ✓ インターネットにつながる環境で作業してください。
- ✓ 写真 1 枚あたり 1~2MB 程度のデータ通信を行います。通信量が気になる場合は WIFI 環境で作業してください。
- ✓ 写真枚数が多い場合、処理に時間がかかります。数百枚の撮影を行った場合は、スマホを充電器に刺し、しばらく放置できるようにして下さい。

	<p>手順 1) [設定アイコン]をクリック。</p>
	<p>手順 2) [すべての情報を更新]をクリック。</p>
	<p>手順 3) アップロードが完了するまで待つ。 ※100 枚以上の写真をアップロードする場合、スマホを充電器につなぎ放置してください。</p>



手順 4)
パノラマ memo にログインし、建物を見ると、撮影したパノラマ写真が閲覧できます。

第3章 アプリ活用テクニック

3-1. 本章について

本章は、以下のような構成になっています。

✓ 第1章・第2章 … 本アプリの基本操作を一通り紹介。

この第3章では「基本機能ではないが、知っておくと便利な機能」をピックアップしてご紹介します。

本章の目次

[3-2. \[設定\] すべての情報を更新](#)を頻繁に実行すること

3-3. カメラのシャッター音量を変更

3-4. 撮影推奨機材

3-5. 現場撮影に行く前の、チェックリスト

3-6. 撮影した写真を、すぐにパノラマ memo に登録したい場合の設定

3-7. 大量の撮影をスムーズに行うテクニック

3-8. 暗い場所での撮影テクニック

3-9. 撮影したパノラマ写真を、パソコンに取り込みたい場合

3-2. [設定] 全ての情報を更新]を頻繁に実行する事

[第2章ステップ4]では、パノラマ写真をアップロードする際に[設定] 全ての情報を更新]を実行しました。しかし、この操作は「パノラマ写真のアップロード」だけでなく以下の重要な役割を持っています。

他のユーザによって、建物・図面が編集されていないか確認する。さらに編集されていた場合は、図面などを最新に更新する。

これは、以下のようなケースで役立ちます。

本アプリには、インターネットにつながらない環境でもパノラマ撮影ができるよう「あらかじめ、建物や図面情報をスマホ内に保存しておく仕組み」が組み込まれています。

しかし、スマホ内の建物や図面情報が古い場合「図面がもう存在しない」「別の図面に差し替えられている」「建物自体が消滅している」という問題が起こり得ます。

これを避けるために、撮影前には極力[設定] 全ての情報を更新]を実施しておくことが重要です。(ただしインターネットにつながる環境が必要)



なお本アプリでは「長期間、情報更新されず放置」されないよう、インターネットにつながる端末では、定期的に[全ての情報を更新]を自動実行する仕組みとなっています。

3-3. カメラのシャッター音量を変更

カメラ(リコーTheta)は、標準の設定で『キュイン』というシャッター音が鳴るようになっています。この音量は本アプリで簡単に「最大～無音」まで変更できます。



音が気になる場合は[OFF]に設定し、問題ない場合は[最大]に設定しておくことを推奨します。(上手く撮影できている事を確認できるため、シャッター音は重要です)

3-4. 撮影推奨機材

現場撮影をする際の、推奨機材を紹介します。

必須



◆カメラ「リコーTheta」
 パノラマ memo では、[Theta SC] というグレードを推奨しています。5色のバリエーションがあるため、複数台購入する場合は色違いにすることで、充電・機材管理に便利です。
 1台でおおよそ2時間の連続撮影が可能。

故障、電池切れに備え複数台

◆スマートフォン「iPhone」＋ネックストラップ
 撮影現場では、カメラなど他の機材も持つため、ネックストラップ付のiPhoneが便利です。



推奨



◆一脚＋小型三脚

写真の画質向上、暗所撮影、撮影者が写りこまないなどメリットが多いです。

通常の三脚では大きく、壁にぶつかり傷をつけるなど懸念があるため、一脚＋小型三脚の組み合わせを推奨します。

上：SLICK 社「セルフィーポッド1350」＋三脚

下：リコー社「TM-1」



◆モバイルバッテリー、充電ケーブル

大量撮影する場合の、スマホ・カメラ充電用に。

暗所撮影を行う場合



◆小型ランタン(室内撮影用)
LED 式の小型ランタン。横方向だけでなく、上方向も撮影でき、持ち手付きのものが便利です。
写真はジェントス社「EX-136S」



◆小型照明(点検口用)
充電式の小型 LED ライト 2 台を、Theta を金具で締結する事で、点検口内を容易に撮影できます。
写真は LPL 社「VL-210M」×2 台

3-5.現場撮影に行く前の、チェックリスト

現場撮影する際のチェックリストです。状況によっては準備・機材も異なるためぜひご活用ください。

必須

スマートフォン、カメラの充電は十分か？

本アプリで「撮影対象の建物・図面」が閲覧できるか？

推奨

三脚、モバイルバッテリー、充電ケーブルを持っているか？

暗所撮影時

ランタン・照明は持っているか？充電・電池はあるか？

点検口撮影用の脚立はあるか？

3-6. 撮影した写真を、すぐにパノラマ MEMO に登録したい場合の設定

本アプリの標準設定では「撮影したパノラマ写真を、後でまとめてパノラマ memo に登録」するようになっています。

以下の設定変更を行うことで「1枚撮影するごとに、自動でパノラマ memo に登録」するようになります。



設定[1枚撮影するごとに、写真をサーバ登録する]について

オンの場合

1枚撮影するごとに、パノラマ写真をパノラマ memo に登録します。そのため、その場で iPad などでのパノラマ memo の閲覧・情報書き込み・共有などが行えます。

モバイル通信出来るスマホが必要です。

パノラマ写真の登録に時間がかかるため、撮影の効率が落ちます。

オフの場合(標準設定)

撮影したパノラマ写真は、スマホ内に保存されます。この場合、あとでまとめてアップロードする事になります。

インターネットにつながらないスマホを利用する場合や、スムーズに撮影を済ませたい場合に利用します。

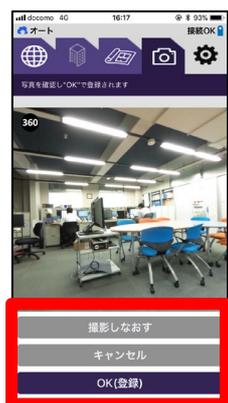
3-7.大量の撮影をスムーズに行うテクニック

ビル1棟丸ごとといった大規模な撮影では、スムーズな作業実施が重要です。(本アプリでは1日に最大1万㎡の撮影が可能です)また、本アプリには、より素早く撮影するための設定があります。

設定[撮影後に、パノラマ写真を表示する(ポストビュー)]



本アプリでは、通常パノラマ撮影を行った後に「撮った写真の確認」と「写真を登録するか？削除するか？再撮影するか？」の確認ダイアログが出ます。



本設定を OFF にすることで「撮った写真の確認」など一連の動作を省略することが出来ます。ただし、明るさが場所ごとに異なるなどの理由で「上手く撮影できていない写真」に気づかない恐れがあるため、パノラマ撮影に慣れていない方にはお勧めしません。

3-8. 暗い場所での撮影テクニック

「薄暗い室内」から「完全な暗闇(点検口・電気が通っていない地下室など)」まで、あらゆる部屋を比較的簡単に撮影ができます。ここでは「準備物」と「暗所での本アプリの使い方」を説明します。

準備物

三脚 …用途に合わせたサイズのを準備してください。

照明 …LED のランタンが便利です。明るさは重要ではありませんが、極力広範囲(上下左右)を照らせるものをお勧めします。

本アプリのカメラ設定③を活用する

本アプリでは、撮影時のカメラ設定変更が容易にできます。



カメラ設定は、パノラマ memo 推奨設定が5種類割り当てられていますが、その内容は利用者が自由に変更できます。特に設定③は「暗所撮影」に特化しています。

設定③を利用した暗所撮影

設定③では「マニュアルモード、ISO100」を基本としています。この中で「シャッター速度」の値のみを切り替える事で、薄暗い部屋～真っ暗闇まで対応できます。このシャッター速度は「秒数が長いほど、暗い所でも明るく撮れるようになる設定」で、大まかな設定例は以下です。

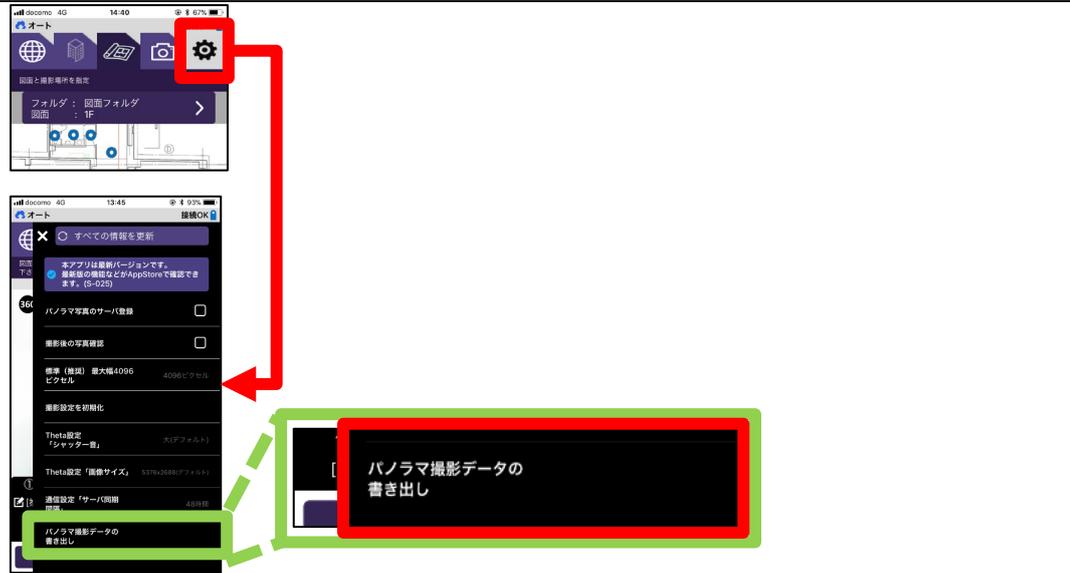
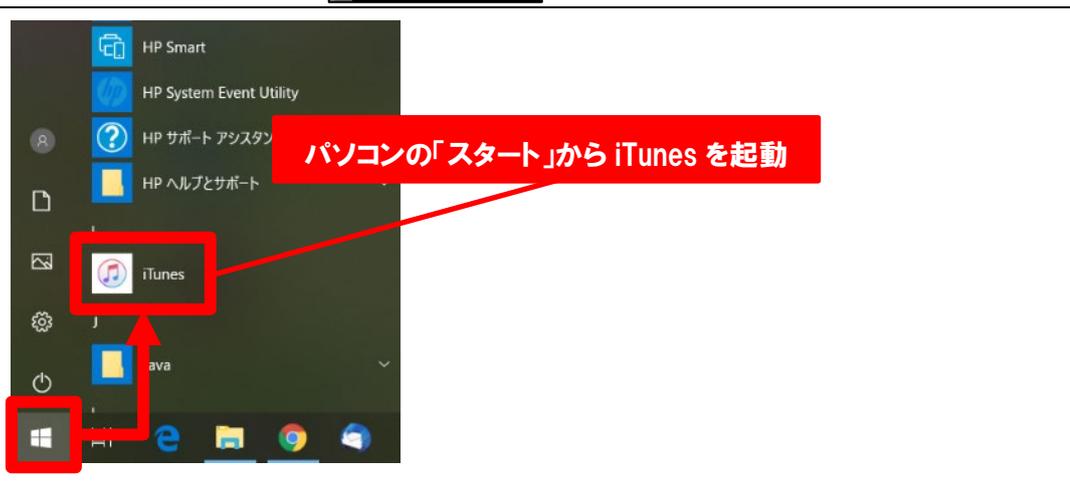
- ✓ 薄暗い部屋： シャッター速度 1/2～1(秒)
- ✓ 点検口： シャッター速度 1/1.3～8(秒)
- ✓ 電気の点かない地下室+ランタン：シャッター速度 3(秒)～

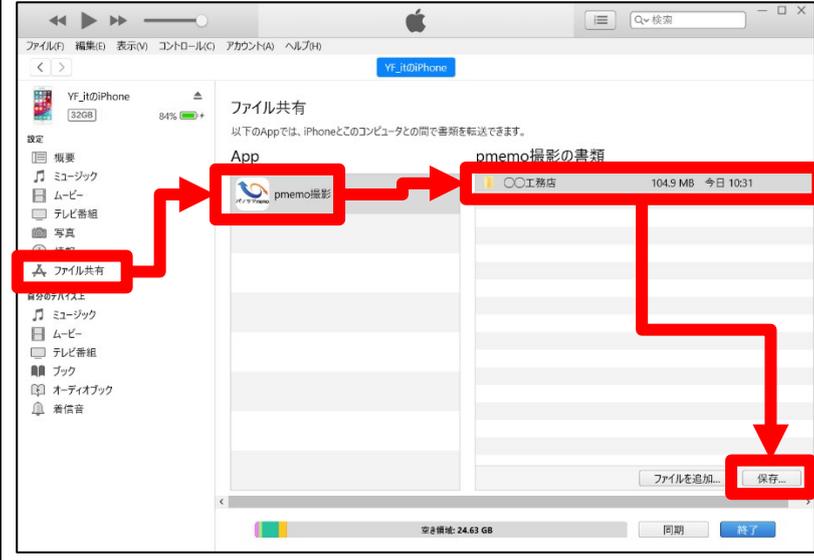
上記を参考に、環境光・照明の明るさに合わせてシャッター速度を調整して下さい。照明の明るさは強すぎない方が、自然に撮影が出来ます。

3-9. 撮影したパノラマ写真を、パソコンに取り込みたい場合

本アプリでは、撮影した写真をパノラマ memo に直接登録します。写真自体はカメラ内に残らない設定となっています。写真データを残したい場合は[設定] パノラマ撮影データの書き出し]を行ってください。

パノラマ撮影したデータを、パソコンに取り込む手順

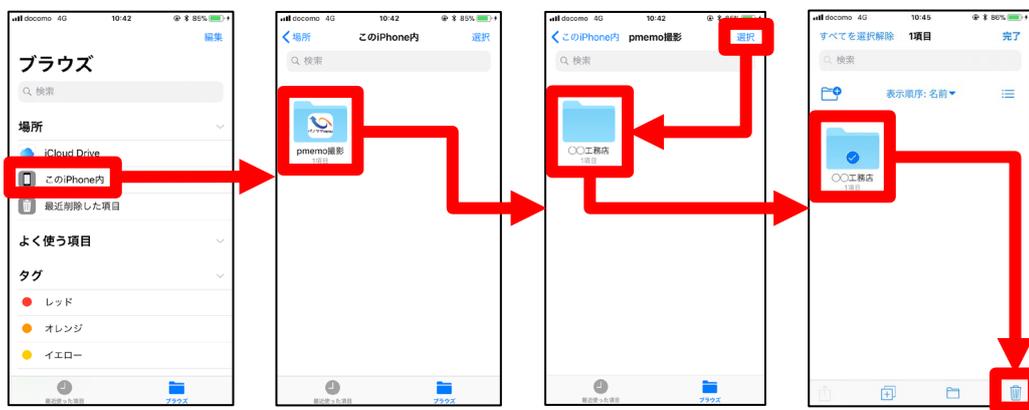
	<p>手順 1) 設定タブから[パノラマ撮影データの書き出し]を選択</p>
<p style="text-align: center;">書き出しが完了するまで待つ</p> 	<p>手順 2) データ書き出しが完了するまで待つ。(短時間で書き出しは完了します)</p>
 <p style="text-align: center;">パソコンの「スタート」から iTunes を起動</p>	<p>手順 3) ※パソコンでの操作 iPhone をパソコンに接続し、iTunes を起動し、スマホのデータ表示に切り替える。</p>

 <p>iPhone の画面で「信頼」を選ぶ</p>	
	
	<p>手順 4) ※パソコンでの操作 左のメニューより[ファイル共有]を選択し、App 一覧から[pmemo 撮影]を選択 画面右にフォルダが表示されるので、選択し[保存]</p>

スマホ内から写真を削除する場合



手順 1)
スマホから、アプリ[フ
ァイル]を起動



手順 2)
アプリ内で[pmemo 撮
影]のフォルダを開き、
不要なデータを削除。